

2012

51

亀城福祉だより

ヒト科の生き物はうるさくていけない。
暑い寒いと文句をたれる。
黙っちゃいるが時期が来れば顔を出すよ、
ほら見事な秋の色。



心と身体のいきいき講座(タオル体操7月2日) まだまだイケる! ヨイショッと!

何らかの「支え」が必要な方が自立できるように同じ地域に暮らす仲間として地域全体で支え合っていく関係をつくるのが**地域福祉**と言われています。見守りネットワーク事業は、独居者の孤独死防止を図ることを目的にしていますが、正に地域での支え合いを主たる目的にしている事業です。

核家族化・独居高齢者の増加等に伴い隣人・近所同士の間関係が希薄化している社会的現象ですが、**福祉協力員・福祉隣組**および**民生・児童委員**が中心になって推進している**見守りネットワーク支援事業**を、平成二十四年度は、一層の連携を深めて一人でも多くの方が関わりを持つ事業に転換していきたいものだと考えております。



亀城学区社会福祉協議会
会長 本間 宏

地域福祉に転換期を

ご長寿さん こんにちは



伊藤啓一さん
(長袋町)
大正14年5月15日生
87歳



Q 今も毎日ご自分で運転して朝仕事に出かけるそうですが元気の秘訣は何ですか?

A 好き嫌がなく何でもおいしく食べること。酒も好きで、毎日の晩酌は楽しみだの!

Q 子どもの頃の思い出などあれば教えてください。

A 六年生の時の鳥海山登山。遊佐駅から徒歩で二の滝で一泊、蔵岡で一泊、初めての鳥海山で楽しかった。あとの、酒中(現東高校)の夜間部に通いたくて、こっそりハンコ押して願書出したば親からずいぶんごしゃがっただけの一。

Q 21で出征、シベリアに抑留後24歳で帰還、幾多の事を乗り越えてきた伊藤さん。若い方々にアドバイスはありますか?

A 友人や兄弟もだいぶ欠け、昔の出来事など聞いたり語れる人達がいなくなってしまった。今思えば、もっと家の事や親戚の事など聞いておけばよかったの。時代が違うからお手本にはならないけども、道しるべの一つとして先輩に聞いておくと良いのではないかなあと思いますよ。

「福祉に幸せに生きること」
これは町内の活動にとって生活の営みそのものである。
：「△△です。夜になっても○○さんの家の明かりが灯らなくて心配です。昨晩は点いていたのですが。離れて暮らすご家族には連絡は取りました」
奥さんを亡くされて今年から一人暮らしで、何度か入退院を繰り返している○○さんを気遣っての電話連絡を受けた。以前から食事の自由が利かないのではないかと思ひ、ご在宅中を訪ねてはお話もしていた。
これまでも、お隣さん、班長、民生



◎わが町の福祉活動の一端



そば打ち体験(親子とそば打ち講師)

委員、自治会の人達は○○さんと大勢係り合っていることになる。幸せに生きるため、周囲の人達がこんなに手厚く見守っていることをご存知な人は多くない。
日本人本来の「人を思いやる」心の文化が、そしてお隣さん意識が一人暮らしの方を見守るネットワークを形成している。



民生委員
大内和子さん
(横道町)

●心温まるエピソード
ある時、遊歩道に大木が倒れ、困っているお宅がありました。すると、皆さんの声かけにより、地域の環境整備の方々がきれいにしてくれました。色んな方の力でこの地域を良くしていただけたらと思っています。

●活動への思いなど
見守り活動の中で自治会長、福祉協力員、隣組、そして地域包括支援センター「はくちょう」との連携プレーを大切に、一人で抱え込まずに、皆で地域の福祉を大切にしていきたいですね。

地域の福祉を支えて

民生委員さんにお聞きしました

編集後記

今回から、デザインを一新しました。編集委員の皆さんのチームワークで完成できたと思っています。「みんなの幸せのために」という、福祉の心が皆さんのお手元に届きますように。(江)

平成24年度編集委員

阿部 宣子 田澤 薫
江口 暢子 矢野 信子
大江 美千 本間 宏
大場 直人 (五十音順)

健康一口メモ

脳卒中予防の日頃の注意

- ①塩分をとりすぎない
- ②身体を動かして高血圧予防
- ③アルコールの種類の関係なく飲みすぎに注意

1日の運動の目安

1日の合計歩数は1万歩が目安です。30分の歩行は約3,000歩に相当します。

1日の目安量



第一回会員研修会 7月7日

健康で長生きできる 暮らしの知恵とは



市福祉局長 酒田 健太郎氏
環境を考える会
酒田 健太郎氏

少子高齢化が進み、介護保険制度が見直しされている現在、「在宅生活」「自立支援」を前提とした住環境整備の必要性は年々高まっています。愛着ある自宅地域で暮らし続けるために、何をテーマに「住まい」の工夫をお話していただきました。

家庭内における不慮の事故。転倒や転落など、住まいには意外と多くの危険が潜んでいます。こうした事故を未然に防ぐための、住まいの改善についてご紹介します。

◎家庭内の事故を減らすには…

- ・意識して動作（生活習慣）を変える
- ①生活の改善
- ②役割分担の見直し
- ③生活スタイルの見直し
- ④体のどこを動かしているか
- ・今ある物や福祉用具を活用
- ①家具の配置を変えて手摺代わりに利用
- ②着脱可能な手摺り、滑り止めマットなどを活用

- ・住まいの問題個所を改修する
- ①手摺り、玄関台の設置
- ②とびらの改修
- ③洋式便器に交換
- ④握り玉をレバーハンドルに
- ⑤敷居の撤去

※酒田市へのご相談は、福祉課（26・5731）、もしくは担当のケアマネージャーへ

- ◎今日からできるちょっとした工夫（家具を使う時の工夫）
- ・重い物は下から詰める
- ・「前傾」より「もたれる」ように扉付きのものを選ぶ
- ・固定する際は天井・壁を確認
- ・賞状額・写真・遺影に注意

自主性を育む ボランティア活動

酒田市立亀城小学校

亀城小学校では、昨年度から青少年赤十字に加盟し、意義と価値を子どもたちに意識させながら児童会活動やボランティア活動に取り組んでいます。また、六年間を見通して各学年に応じたボランティア活動を実施することで、「気づき」「考え」「実行する」という自主的な態度を育んでいます。

六月の下旬に六年生は、保育園訪問を通して今の自分にできるボランティアのあり方を学びました。この日は、保育園の先生方と一緒に園児と楽しくふれ合った後に、自分たちで工夫し考えたゲームや劇、読み聞かせなどをして、笑顔いっぱい交流ができました。



一生懸命に読み聞かせをする児童たちに、園児たちも聞き入っています

小中合同 あいさつ運動実施

酒田市立第三中学校

「思いやりの心を持ち、誇りと自信を持って生活する児童・生徒を育成する」ことを目指し、四校（三中和学区内各小学校）連携の取り組みの一つとして『小中合同あいさつ運動』が今年度も6月に実施されました。三中生徒会役員と各小学校の児童会代表の子どもたちが、各小中学校の昇降口前に立ち、大きな声であいさつを行いました。この取り組みを通して、あいさつとコミュニケーションの輪が広がり、各学校そして地域との結びつきがより一層強くなることを願っています。



亀城小児童会と三中生徒会による合同あいさつ運動（旧酒田商業高等学校昇降口）

◎入浴事故予防
…入浴事故は年間約一万四千人。交通事故の倍の人数で、特に冬が多い。これは、家の中の温度差が大きいから

・入浴のポイント

- ①体調が悪い時は入らない
- ②浴室・脱衣所を温める
- ③湯温は41℃
- ④入浴前後に水分補給
- ⑤かけ湯をする
- ⑥家庭内での声かけ
- ⑦半身浴をする
- ⑧上がる時はゆっくりと



住まいの改修は「無意識にする行動」に着目することがポイントで、生活習慣に合わせた改修の事例紹介や低価格でできる工夫、公的サービスの紹介もしてもらいました。ちょっとした工夫と生活習慣の改善で、より健康的に、住み慣れた自宅・地域の中で暮らし続けることができるのだそうです。



平成二十四年度 学区社協の事業計画

＊事業区分＊

●基盤強化事業

- 一、合同会議・研修会の開催
- 二、自治会活動の中に新・草の根事業等の推進
- 三、自治会長、民生・児童委員、福祉協力員交流会
- 四、学区社協代表者会

●生きがいふれあい事業

- 一、「見守りネットワーク支援」事業
- 二、ふれあい（老人）給食事業
- 三、地域安心事業
- 四、地域交流（いきいきサロン）事業
- 五、介護予防講座事業（心も身体もいきいき講座）
- 六、ふれあい会
- 七、寝たきり老人への贈り物

●啓発事業

- 一、会報（福祉だより）発行

●福祉教育事業

- 一、福祉ボランティア養成
- 二、民生・児童委員、福祉協力員研修

「思い」で 見守る新通学路

登下校の様子
にぎやかな
通りに
なりました



旧酒商前 新井田橋にて

5月の連休明けより旧商業高校への登校が始まりました。毎朝そして下校時、緑のジャンパーを着た「亀っ子みまもり隊」の方々、それに保護者や地域の方など本当にたくさんの方々が、子ども達と一緒に登校してくださったり、交差点や見通しの悪い場所などで子ども達を見守ってくれています。なんとあたたかい、頼もしい光景でしょう。皆さんの思いはひとつ、「子ども達の無事と笑顔を守りたい!」。そんなたくさんのお思いが、亀っ子達を支えています。亀城学区の地域力は本当に素晴らしいですね。これからもみんなで見守っていきましょう。子ども達の安全と笑顔を。そしてかけがえのない命を。

地域の中で 子育て支援

『NPO法人ぴーちくぱーく』（亀ヶ崎二丁目）は、平成12年に子育て支援グループとして立ち上げ、出張託児・イベント開催を行ってきましたが、平成22年にNPO法人となり、一時預かり事業も始めました。個人宅の一部屋を借りての預かりなので、予約のみの少人数対応となりますが、お母さんの用事、普段見てくれているおばあちゃんに通院、学童終了後等の依頼があるそうです。地域の中にこのような場所があれば、何かあった時利用しやすいのではないのでしょうか。

詳細はお問い合わせ下さい。

◎NPO法人ぴーちくぱーく
090-4478-1189 天野まで

託児の様子

